

執筆の手引き—『学校音楽教育研究』（原著論文、その他）—

【原著論文】

◆書式

1. **学会ホームページの書式を用い、それに上書きをしてください。**別に書いたものを書式に貼りつける時は、「**書式を結合**」を選択して下さい。「元の書式を保持」にすると崩れる場合があります。
2. A4版で作成（できあがりはB5になる）。横書き、1ページは23字×43行の2段組。図表、注、英文要旨などを入れて12ページ以内。印字原稿は1ページ23字×43行の2段組の形にする（貼り合わせ可）。
3. 題名2行分、副題のある場合は1行分（センタリング）、1行あけて次の行に氏名（センタリング）、1行空けて本文に入る。つまり副題のある場合は6行空けてから本文に入る。副題のない場合は5行空ける。ただし、投稿時には、氏名は書かない。
4. 表題・執筆者名・本文・注または参考文献の順に記述する。
5. 原著論文の本文タイトル下に挿入する英文要旨は300語程度とし、本人の責任で校閲を経たものとする。
6. 章はローマ数字（Ⅰ Ⅱ Ⅲ...）、節はアラビア数字（1. 2. 3. ...）、項は括弧アラビア数字（1）（2）を「MSゴシック」でつける。すべて左詰めで記述する。章はローマ数字のあと1字分空けて見出しの文字を書く。文章は行を改めて書き出す。節は、アラビア数字のあと1字分空けて見出しの文字を書く。文章は行を改めて書き出す。項は、括弧アラビア数字のあと1字分空けて見出しの文字を書く。文章は行を改めて書き出す。

[例]

I 音楽教育の諸問題

1. 音楽教育の理論

(1) アメリカの歴史

7. 注は論文の最後に、引用の順に列記する（自動脚注は使わない）。参考文献は、論文の最後に（注がある場合は、注の後に）列記し、2行目以降は頭位置を1字下げる。

注及び参考文献のどちらも、フォントポイントは9にし、行間は本文と同じにし、狭めない。

- ・ 雑誌の場合：著者名(発行年)「表題」『雑誌名／紀要名』発行者名、巻号、ページ
- ・ 単行本の場合：著者名(発行年)『書名』発行所、ページ
- ・ 辞典・事典の場合：責任執筆者名(発行年)「表題」編纂者『辞典・事典名』発行所、ページ
- ・ Web情報の場合：責任執筆者名「表題」発行所、URL（最終閲覧日）

《注の書き方の例》

- 1) 大阪花子(1998)「音楽教育の方法」『学校音楽教育研究』日本学校音楽教育実践学会、第5巻、pp. 22-26
- 2) 大阪太郎(2000)『日本の音楽教育』大阪堂、p. 13
- 3) 音楽花子(2018)「音楽教育の歴史」音太郎編『音楽事典』大阪出版、p. 100
- 4) Taylor, W. (1998) *The Music*, Oxford University Press.
- 5) Reime, G. H. (2001) 'Study of Music'. In Jackson, P. (ed), *Handbook of Education*, Macmillan, pp. 400-450
- 6) 東京花子「音楽教育のこれから」音楽教育実践学研究会、<http://www.ongakujissen.com/>（最終閲覧日 2020年3月31日）

*本文中の注番号は、該当箇所の語句の右肩に1) 2)のようにつける。

[例] ...として位置付けられていることが多い 1)。△△は次のように述べている。「○○○○○」 2)。

《参考文献の書き方の例》

大阪花子(1998)「学校音楽教育における実践的アプローチの意義」『学校音楽教育実践論集』日本学校音楽教育実践学会、第1号、pp. 32-33

Reime, G. H. (2001) 'Study of Music'. In Jackson, P. (ed), *Handbook of Education*, Macmillan, pp. 400-450

※ 注及び参考文献の書き方は、必ず、この例を参照して書いてください。

8. 本文中の英数字はすべて半角（フォントはCentury）とする。
9. 図表・写真・楽譜に関して
 - (1) 図表の類いは、比率に注意して、印字原稿の本文中に挿入し、図は図の下に番号とタイトル、表は表の上に番号とタイトルを明示する。番号とタイトルのフォントは「MSゴシック」とし、センタリングする。
 - (2) 原図を別添えする。

◆評価基準に関して

審査は原著論文査読要領に基づき、以下の観点よりなされる。

- ① 学校音楽教育実践学の構築・発展に寄与する内容であるか。

- ② 内容に独自性があるか。
- ③ 論文の目的と結果が結び付いているか。
- ④ 論旨に一貫性があるか。
- ⑤ 先行研究・注・引用が適切か。
- ⑥ その他（特に「原著論文査読要領」のⅡの5に関して）

【その他（図書紹介、海外教育事情）】

◆書式

1. **学会ホームページの書式を用い、それに上書きをしてください。**別に書いたものを書式に貼りつける時は、「**書式を結合**」を選択して下さい。「元の書式を保持」にすると崩れる場合があります。
 - ・A4版で、23字×43行の2段組（図表・注などを含む）で書く。
 - ・「図書紹介」「海外教育事情」ともに、1ページ（図表、注などを含む）とする。
 - ・上記以外のページ数は、編集委員会が指定する。
2. その他の詳細については、原著論文の書式を参考にする。

◆その他

1. 文章中の表記の統一を図ること。
例) 子ども、こと（事）など。
2. できあがりにはB5版になるので、提出前に、図表、写真、楽譜等も挿入した完成原稿をプリントアウトし、B5に縮小コピーをし、図表等が見えにくくならないかどうかを確認した上で提出すること。
3. 個人情報の扱いに注意を払い、文中の人名等、特定されないように配慮すること。また、収録物（楽譜、写真等）の著作権使用については所定の手続きをとること。